

設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。

部品構成表 ()は素材

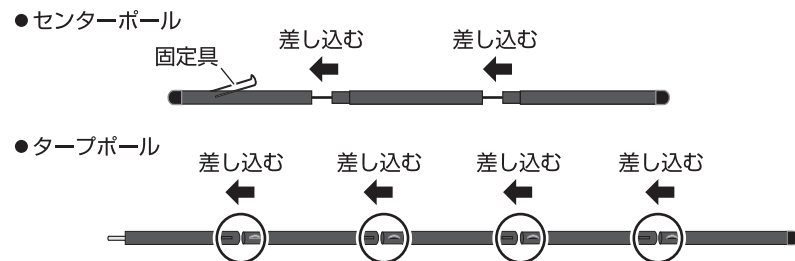
フライシート×1 (ポリエステル)	インナーテント×1 (ポリエステル)	タープ×1 (ポリエステル)	センターポール×1 (スチール) (3節)
タープポール×1セット (スチール) (5節)	ペグ×28 (スチール)	ロープ 2.5M×6 8M×2 3M×4 (PP)	ハンマー×1 (スチール) ※サービス品

設営方法

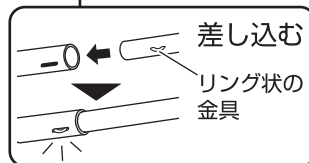
- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。
- フライシートのみ設営して、日除けとして使用できます。

1 すべてのポールを連結して組み立てる

- リング状の金具が固定されるまで、しっかり差し込む。



注意 ●リング状の金具が固定され、フレームが抜けないことを確認する。

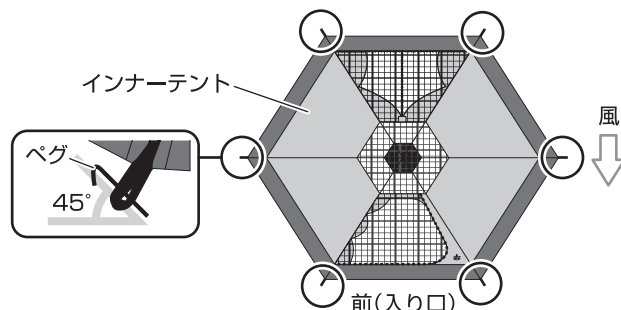


2 インナーテントを広げて、ペグで固定する

- ペグは6か所打ち込む。

Point

- 入り口が風下になるようにしてください。
- ロゴマークがある方が前(入り口)です。
- 対角線を順番にペグダウンすると、きれいに張れます。



上手な
使いかた

- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故のおそれ)

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。

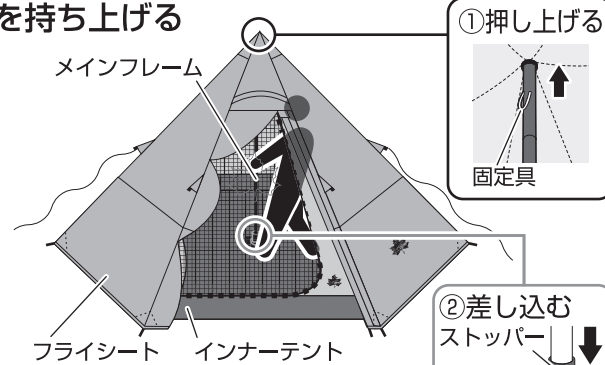
- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)

- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- 付属のハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

3 フライシートをかぶせて、センターポールでインナーテントを持ち上げる

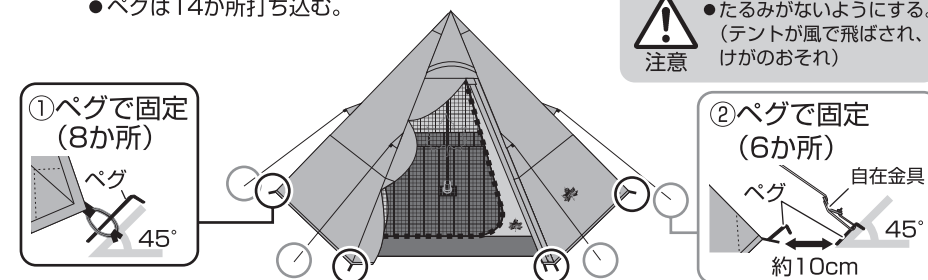
Point

- フライシートとインナーテントの入り口を合わせてください。
- センターポールは固定具が上になるようにしてください。



4 ペグで地面に固定する

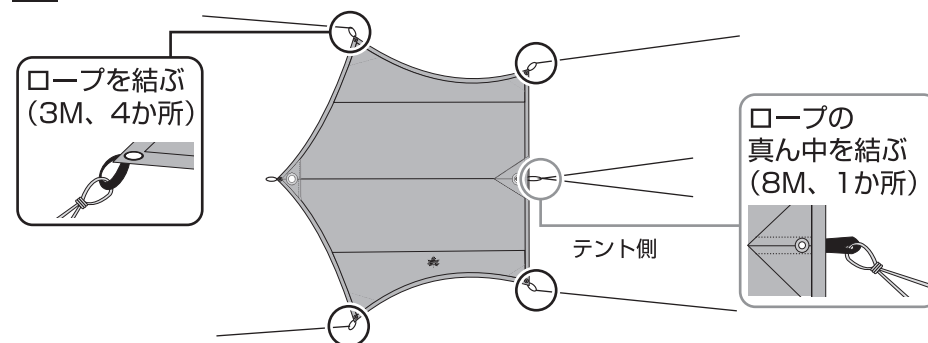
- ペグは14か所打ち込む。



5 タープを広げて、ロープを結ぶ

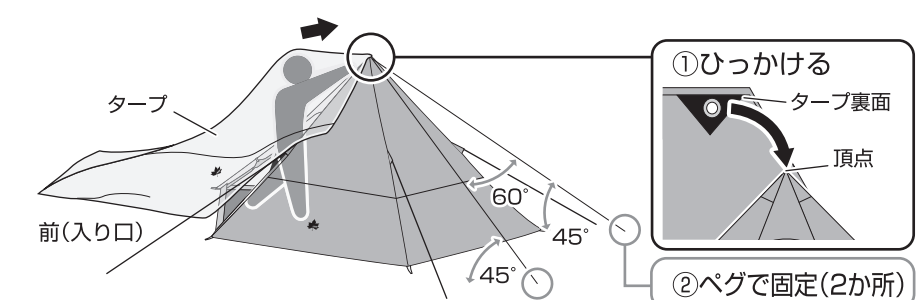
ロープを結ぶ
(3M、4か所)

ロープの
真ん中を結ぶ
(8M、1か所)



6 タープをテントの頂点にひっかける

- テント側のグロメット(大)を、テントの頂点と合わせる。
- ロープをペグで固定する。(2か所)

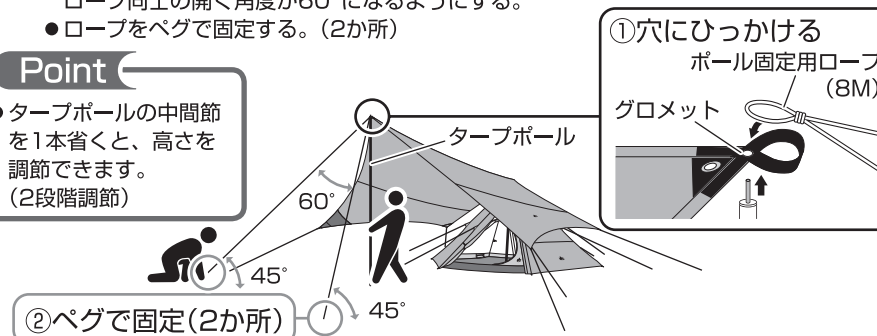


7 反対側にタープポールを立てて、固定する

- ポールを垂直に立てたとき、ロープとの角度が45°ぐらいになり、ロープ同士の開く角度が60°になるようにする。
- ロープをペグで固定する。(2か所)

Point

- タープポールの中間節を1本省くと、高さを調節できます。(2段階調節)



8 残りのロープを、ペグで地面に固定する

- ペグは4か所打ち込む。



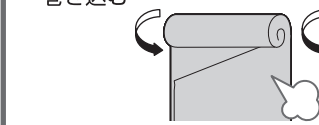
収納のPoint

- インナーテントは、折る直前にペグを抜くと作業しやすいです。
- ファスナーは少し開けておきます。
- 収納バッグ、収納袋の幅に合わせて折ります。

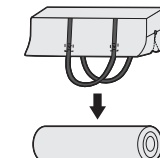
収納前に完全に
乾かしてください。

テントの収納

- ①フライシートとインナーテントを重ねて、センターポールを軸に空気を抜きながら巻き込む

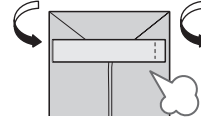


- ②収納バッグをかぶせる



タープの収納

- ①タープにタープポールを置き、空気を抜きながら巻き込む



- ②収納袋に入れる



- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

組み立て手順は
web動画でも
確認できます。

